

**The lady's magazine**, 1771—1831. London, Printed for S. Robinson. 47 vols. 20.8×12.6cm  
<380. 5-L>

Hiler p. 520    Colas 1711—1713    Lipp. 4565

本誌は1770年ロンドンで創刊され、事実上ファッション・ブックの創始といわれている。当時この種の雑誌がそうであったように、本誌も小説、詩、演劇、音楽、王室情報、投書、結婚・誕生・逝去の告知などを内容とする一種の総合雑誌であったが、発刊当初から月一枚程度の服飾プレートが挿入され、ファッション・ブックとしての草分けを示めている。図版も1793年までは単色の銅版画であったが、（人々は、大抵それに自分で彩色を施した）1800年に入り、目次に「パリのファッション」と「ロンドンのファッション」という見出しが継続的に掲載されるようになると、流行情報と共に美しい彩色図版が添付されるようになった。また、このころになると、創刊号から見られる楽譜や図案などの折り込み頁も少なくなり、これらは新シリーズになる1820年ごろには全く姿を消した。本誌は1770年より1837年まで続刊されたが、その間、副題、シリーズ形式などを度々変えており、Hiler 及び Colas の文献目録でも、副題とその年号、シリーズ番号と年号などが必ずしも一致していない。こうして、同名誌が副題をかえて他社から刊行されたこともあったとみられる。ここでは本館所蔵のものをもとに、その変遷をたどってみる。

1770—1819年 *The lady's magazine, or entertaining companion for the fair sex, appropriated solely to their use and amusement. v. 1-50. printed for Robinson and Roberts.*

「婦人雑誌、すなわち女性のための楽しい仲間、効用と娯楽を独り占めにした」

1820—1829年 *The lady's magazine, or mirror of the belles-lettres, fashions, fine arts, music, drama, & c. A new series. v. 1~12 (?) printed for the proprietor, published by S. Robinson.* 「婦人雑誌、すなわち文芸、服飾流行、美術、音楽、演劇などの鏡」新シリーズ。

1830—1837年(?) *The lady's magazine, or mirror of the belles-lettres, music, fine arts, drama, fashions, & c. Improved series. v. 1— [?] published by S. Robinson.* 同改訂シリーズ。

本館には、1771年から1831年までの56冊が所蔵されており、うち1825年から1830年までの8冊が重複している一方、Hiler の文献目録記載の総刊行年と比較すると、1770、1776、1779—1780、1782、1801、1814—1815、1817—1822、1832—37年の各巻が欠本となっている。

『ザ・レディズ・マガジン』という名称は、1731年に月刊誌として刊行された Edward Cave's gentleman's magazine をまねて名付けられたが、本書が刊行されるまでに、同じ誌名をもつ雑誌が、次のように幾種類にも及んだ。

The lady's magazine, or monthly intelligencer. 1833 年

The lady's magazine, or complete library, by Goldsmith. 1738—39 年

The lady's magazine, or universal entertainer, by Jasper Goowill of Oxford Esq. 1749—53 年

The lady's magazine, or polite companion for the fair sex, by Goldsmith. 1759—63 年

また、20世紀に入り、同じく The lady's magazine という雑誌 <383. 135-L> が、1901年の創刊号から1905年の9巻まで本館にあるが、これもファッション・ブックというよりも、婦人誌の類である。なお、ファッション・ブックとして、最も純粋な型をとった初期の刊行物には、フランスの *Galerie des modes* (97) とイギリスの *Gallery of fashion* (98) とをあげることができる。『ギャルリ・デ・モード』は1778年から1788年まで続刊された服飾画集である。図版は、この分野の著名な作家たちによって描かれ、ルポー夫人の精緻な手彩色が施された、フランス同時代の服飾流行を示しており、これは18世紀における最も華麗で透逸した作品として、きわめて重要な稀覯書に数えられている。本館には、1912年に刊行された原画からの翻刻版 *Galerie des modes costumes français dessinés d'après nature. 1778—1787, ...* 全4巻 洋装入りがある。これには、ルイ16世時代のロココ終末を飾る甘味な服飾画が展開されている。(平井)



最新流行の二人の婦人、1775年